

令和4年度事業報告

公益社団法人 港区シルバー人材センター

I はじめに

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症による影響は残るものの、政府による国民の行動制限や経済活動の制限の見直しなど、社会経済活動の正常化が進められてきました。こうした状況下、センターは会員の安全を第一に考え、十分な感染防止対策を講じながらセンター活動を継続してまいりました。

コロナによる活動の停滞で、ここ数年会員間の交流は減少傾向にありましたが、ちいコミを始めとした地域班活動や、会員による区内一斉清掃活動「シルバー感謝デー」等さまざまな活動機会が増えるにつれ、会員の参加に増加が見られ、センターは次第に活気を取り戻しています。また、事業においても足元では需要の回復が見られ、力強さが感じられるようになってまいりました。

さて、令和4年度は第3次基本計画の最終年度でした。第3次基本計画では、「自主・自立、共働・共助」を基本理念とし、健康で働く意欲のある高齢者のために、その知識、経験及び希望に沿った就業機会を確保し、生きがいや社会参加がこれまで以上に推進されることを目指してまいりました。

この将来像を実現するため、「会員の増強」「就業の推進」「就業の質の向上」「安全就業の徹底」「会員活動の推進」「推進体制の強化」の6項目を重点項目として掲げ、会員の皆さまとともに理事会、委員会等を挙げて取り組んできました。

重点取組事項のひとつ「会員の増強」では、前年度比75人増(4.4%増)の1,777人となりました。これは、近年にない大幅な増加であり、会員が主体となって行う入会説明会の運営内容の充実を図ったことや、会員の口コミによる紹介活動「1+1(ワンプラスワン)運動」等会員の皆さまの努力の結果と考えられます。さらに、就業することが困難になってもボランティア活動等に参加するために会員として在籍することが可能な「プラチナ会員」に21人の新規登録があり、退会抑制につながりました。

次に契約金額ですが、請負契約金額は前年度比3.7%増の671,452千円、シルバー派遣契約金額は前年度比6.0%増の133,895千円、両方の合計金額は805,348千円、前年度対比4.1%増となり、初めて8億円を超える過去最高の実績となりました。請負・派遣を含めた全体の就業率は前年度比6.7ポイント増加し86.0%となりました。就業創出員による新しい分野への就業開拓活動や会員との対話を重視した就業

相談会を通じた就業率の向上等、第3次基本計画においての取り組みが効果をあげています。

令和5年度からは第4次基本計画（2023～2026）がスタートします。この計画では、「いくつになっても、楽しくはたらくことのできる、居場所のある地域社会の実現」を目指して策定しました。

II 基本方針

1 センター運営の目標及び原則

「自主・自立、共働・共助」を基本理念とし、健康で働く意欲のある高齢者のために、その知識、経験及び希望に沿った就業機会を確保し、生きがいや社会参加がこれまで以上に推進されることをめざし、事業に取り組んでまいりました。

2 第3次基本計画の取り組み

令和4年度は「第3次基本計画」（3ヶ年計画）の最終年度にあたり、各項目別の行程表に基づき以下の6項目を重点事業として着実に取り組んできました。

- (1) 会員の増強
- (2) 就業の推進
- (3) 就業の質の向上
- (4) 安全就業の徹底
- (5) 会員活動の推進
- (6) 推進体制の強化

3 令和4年度 目標に対する結果

令和4年度の事業目標及び実績は以下のとおりです。

区分	目標	実績	達成率	結果	
(1) 会員数	1,740 人	1,777 人	102.1%	達成	
(2) 就業実人員	1,392 人	1,528 人	109.8%	達成	
(3) 就業率	80.0%	86.0%	6.0 P 超	達成	
(4) 契約金額					
内訳	請負・委任契約	680,000 千円	671,452 千円	98.7%	未達
	シルバー派遣契約	128,000 千円	133,895 千円	104.6%	達成
	計	808,000 千円	805,348 千円	99.7%	未達

※就業実人員及び就業率は請負と派遣を合計したものです。

※数値は千円未満を切り捨てています。

Ⅲ 令和4年度の概況

1 会 員 数

令和4年度末会員数は、1,777人となり男女別内訳は、男性848人、女性929人で、男女比は男性47.7%、女性52.3%でした。

今年度の入退会者数は、入会が230人(前年度172人)、退会が155人(同156人)でした。前年度末会員数の1,702人と比較すると、75人(前年度比約4.4%)の増加でした。

2 請負契約における事業実績の特徴

(1) 契約金実績

令和4年度の年間契約金額は、令和3年度の実績647,483千円を約23,969千円(3.7%)上回り、671,452千円となりました。

契約金額の事業別内訳は、公共事業が前年度に比べ約1,740千円(0.6%)の減少で268,610千円、民間事業(独自事業含む)が前年度に比べ約25,709千円(6.8%)の増加で402,842千円となりました。

(2) 契約件数及び就業延人員

令和4年度の契約件数は、前年度比較100件(1.5%)増加の6,570件、就業延日人員は、前年度比較2,819人日(2.1%)増加の135,594人日となりました。

契約件数及び就業延人員の対前年度比は、公共事業が契約件数で0.2%増加、延日人員で0.6%減少しました。民間事業(独自事業含む)は契約件数で1.9%、延日人員では3.9%それぞれ増加となりました。

(3) 職群別事業実績

令和4年度の職群別の契約金額では、管理群が約321,779千円(47.9%)、続いて一般作業群が約175,581千円(26.1%)、サービス群が約100,791千円(15.0%)、技能群が約30,038千円(4.5%)、事務整理群が約24,914千円(3.7%)、技術群が約17,740千円(2.6%)等となっています。

職群別事業実績では、管理群と一般作業群で全体の74.0%を占めました。

(4) 公民事業比

公民事業比については、令和3年度41.8:58.2に対して令和4年度40.0:60.0となり、1.8ポイント民間が増加となりました。

(5) 年間就業実人員

令和4年度の年間就業実人員は1,444人で令和3年度の1,255人と比べ189

人増加しました。

なお、シルバー派遣事業のみで就業する会員が 84 人おり、シルバー派遣事業を含めた就業実人員は 1,528 人となりました。

(6) 年間就業率

令和 4 年度の年間就業率は、81.3%となり、前年度の 73.7%から 7.6 ポイント増加しました。一人でも多くの会員が就業できるよう、単発のモニター業務を就業開拓して仕事の情報を事務局だよりや Smile to Smile を通じて提供するなど就業機会の提供を広く行いました。就業対策委員会が主体となって行う就業相談会等も未就業対策に効果的に作用しました。また、シルバー派遣事業を含めた年間就業率は 86.0%となり、前年度の 79.3%から 6.7 ポイント増加しました。

3 シルバー派遣事業

令和 4 年度のシルバー派遣事業は、前年度に比べ受注実績、受注件数、派遣就業実人員、派遣就業延人員がいずれも増加しました。さらに派遣登録会員数は、50 人増加の 521 人となりました。

受注件数は、前年度比較 34 件 (23.4%) 増加、派遣就業実人員は 11 人 (3.1%) 増加、派遣就業延人員は、576 人日 (3.3%) 増加となりました。

年間の派遣契約実績は、133,895 千円で、前年度比較 7,591 千円 (6.0%) の増加となりました。

(令和4年4月～令和5年3月)

派遣労働登録会員数(人)		受注件数(件)		契約金額(円)			就業実人員(人)	就業延人員(人日)
男性	女性	公共	民間	公共	民間	合計		
221	300	1	178	6,657,136	127,238,823	133,895,959	371	18,274

*上記の就業実人員 371 人のうち、派遣事業のみの就業実人員は 84 人、請負・派遣両方の就業実人員は 287 人でした。

4 センター活動率

令和 4 年度から就業及び就業以外の会員活動やボランティア活動に参加している会員を含めた割合を「活動率」と呼び、新たな指標として設定しました。センター活動率の基礎となる活動は、就業を始め、各種ボランティア、ちいコミ、センター主催イベント等の参加者となります。会員数 1,777 人に対して、活動に参加した会員が 1,588 人おり活動率は 89.4%となり、多くの会員がセンター活動に参加していることが示されました。

IV 事業の実施状況

1 会員の増強

高齢者のいきがいの充実と社会参加の推進を図るため、新規会員の募集を推進するとともに、会員の口コミによる1+1（ワンプラスワン）運動やチラシの新聞折込、イベントの参加等様々な企画を行いセンターの認知度を高める活動を行いました。さらに、ホームページからいつでも入会説明が視聴できる等、入会しやすい環境づくりに努めました。

また、退会抑制策として、就業が困難になっても在籍できるプラチナ会員制度の周知を積極的に行いました。

(1) 普及啓発事業

区 分	実施回数等	備 考
① センター 広報紙の発行	年3回 5、9、1月 7,500部	「みなとシルバーニュース」を作成し、会員の就業活動を中心にセンターの事業活動を広く周知しました。
② ホームページによる情報発信	随時更新	法人として必要な基本情報の公開や、事務局だよりを通じた仕事の募集等の情報を毎月発信しました。
③ 事務局 だよりの発行	月1回（年12回） 約21,600部	就業情報や会員にとって必要な情報を提供し、情報の共有化を図りました。
④ 広報強調 月間事業	ポスター掲出 年1回10月 150枚	区設掲示板に会員募集のポスターを掲出し広くセンターをPRしました。
	シルバー人材センター写真展 年1回10月	東京しごと財団が主催するシルバー人材センター写真展へ2点の写真を提供しました。
⑤ イベント 事業への参加	イベント参加4件	しごと財団等との共催による「これからシルバー応援フェスタ」の他、「みなと区民まつり」「港区地域げんきフェア」「麻布地区地域交流フェスティバル」のイベントに参加しました。
⑥ 会員増強月 間事業	ポスター掲出 1回3月 計30枚	区設掲示板に会員募集のポスターを掲出し、入会を呼びかけました。

	新聞折込チラシ 年3回 1、2、3月	QRコードを活用した会員募集チラシ の新聞折込を実施しました。
	郵便局窓口封筒広 告の設置 51局 32,400部	郵便局内に設置されている窓口現金納入 封筒にセンターの広告を掲載しました。
⑦ 会員募集の 広告等	新聞折込チラシ 年6回 6、8、12、1、2、3 月	登下校誘導業務やいきいきプラザ受付 業務等、業種を絞った会員募集の新聞 折込を実施しました。
⑧ みなとふれ あい館事業P Rの強化	新聞折込チラシ 年4回 6、9、12、3月	新聞折込チラシを作成し、パソコン教 室やカルチャー講座の受講生を募集し ました。 また、見る人に分かりやすいようチラ シのデザインを改良しました。
	チラシやポスター の設置・掲出	いきいきプラザや図書館等へチラシを 設置した他、ふれあい館建物入口等に リーフレットを設置しました。
⑨ 1+1(ワン プラスワン) 運動の実施	随時	会員の紹介による口コミ制度。ちいコミ 等を通じ会員の中に普及し、会員からの 紹介による入会者が42人ありました。
⑩ 港区の広報 活用	高齢者サービス 一覧 年1回	「孫の手サービス」の紹介をしまし た。
	高齢者サービス案 内「いきいき」 年1回 6月	センターの事業案内と「高齢者の仕事 の相談」「孫の手サービス」の紹介を しました。
	広報みなと 年4回 6、10、2月(2回)	会員募集・仕事の発注依頼及びシルバ ー事業のPRを行いました。
⑪ 認知度向上 に向けた周知	電柱広告 都バスアナウンス	センター本部付近6ヶ所に電柱広告の掲 出及び、都バスの最寄停留所案内アナウ ンスを通じて来所される方への案内及 びPRを図りました。

⑫退会の抑制を図る取組 プラチナ会員制度の推進	プラチナ会員数： 42人	就業が困難となっても会員として在籍できるプラチナ会員制度を推進しました。導入2年目となる4年度は21人が新規登録しました。
----------------------------	-----------------	---

(2) 相談事業

区 分	実施回数等	備 考
① 一般相談事業	随時	就業に関する相談を窓口等で随時実施しました。
② 出張相談事業	「高齢者の仕事の相談」年10回 第2月曜日	港区役所区民相談室を会場に、理事が相談員として対応しました。
③ イベント出張相談事業	年3回	「これからシルバー応援フェスタ」 「港区地域げんきフェア」 「麻布地区地域交流フェスティバル」に参加出展し来場者へのセンター活動PR及び入会案内を行いました。

(3) 研修事業

区 分	実施回数等	備 考
① 入会説明会	4～3月に実施 (24日間) 説明会：259人 面談：256人 入会：230人	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、1回当たりの参加定員を5人以下とし、1日最大4回開催しました。参加機会を増やすため、毎月2日間ずつ実施しました。
② 入会手続きのICTの活用	上記の内Web入会 申込者数：38人 入会者数：28人	入会説明会と同等の内容をWeb上で案内し、非対面での説明会を推進しました。また、QRコードの活用による入会推進も継続しました。

2 就業の推進

(1) 就業機会の確保

シルバー人材センターの基幹をなす請負・委任契約による受託事業を引き続き着実に受注するとともに、受託業務において適正就業の一層の推進を図りました。また、「一般労働者派遣事業」においても派遣登録を推進し着実に体制整備を進めました。

自主事業については事業採算性の向上を図りながら、高齢者の経験と知識を活かした地域貢献につながる事業に取り組みました。

また、リサイクル自転車及びリビングサービスの作業所は元麻布から旧三田図書館に移転しました。自転車リサイクル事業は好立地により集客も上がり、より広い作業スペースを活かし就業人員を増やすなど後継者育成に取り組んでいます。

1) 受託事業

区 分	実施回数等	備 考
① 各種請負・委任の受託事業	通年 (6,570 件)	港区を始め、東京都・企業・一般家庭等からの受託業務を履行しました。
② 家事援助や訪問型サービス事業の展開	随時	高齢化に伴い増加する訪問型サービス事業の担い手としての取組を進めました。
③ 孫の手サービス	通年 (254 件)	高齢者(60 歳以上)や障がい者を対象とした生活支援事業。電球交換や、話し相手など日常生活のサポートを行いました。

2) シルバー派遣事業

区 分	実施回数等	備 考
シルバー派遣事業の体制整備	派遣登録説明会 2 回実施 11 人参加	依頼に即時対応するため、パソコンを使用する事務・経理業務の登録説明会や研修を実施しました。

3) 自主事業

区 分	実施回数等	備 考
① リサイクル 自転車販売事 業	販売台数 226 台 ・作業連絡所販売分 206 台 販売日：毎月第 2 日曜日 (3 月のみ第 4 日曜日) ・エコライフフェア 9 台 ・区民まつり 11 台	リサイクル自転車の売上げの一部 23,800 円を港区社会福祉協議会に寄付しました。購入者に対する自転車の無料点検を実施しました。
② ふれあい館 スマホ・ パソコン 教室事業	受講生 延 1,149 人 ・無料体験講座 ・集合講座、個人講座 ・個人レッスン、訪問レッスン	会員の自主企画・提案により講座数を増やし、スマートフォン講座の充実を図りました。
③ ふれあい館 カルチャー 講座事業	受講生 延 5,179 人 講座 延 294 講座 ※平均月 24.5 講座開催 (3 ヶ月ごとに開講期を設定)	英会話・中国語・囲碁・太極拳・サルサダンス・ジャズダンス・ミュージカル・マッサージ・書道・俳句・折り紙・歴史ガイド・読み聞かせ・文章の書き方等の各種講座・教室など
④ ガイド事業	歴史ガイド・歴史散策シリーズ 4 企画、16 コース実施 参加者 延 117 人	レインボーブリッジや、大使館巡り、多磨霊園等、個人では訪れる機会の少ない港区及び近隣のガイド企画を立案・実施しました。

4) 指定自主事業

区 分	実施状況	内 容
① 軽作業室 統括事業	月～金曜日で月 20 日以内 9 時～17 時の 6 時間以内	軽作業室内における依頼内容の手配、作業段取り、点検・納品など
② 家事援助 サービスコー ディネーター 事業	月～金曜日で月 20 日以内 13 時～17 時の 4 時間以内 2 人ローテーション就業	発注者宅への訪問、依頼内容の手配、研修会の実施など

③ 運搬業務	月～金曜日で月 20 日以内 8 時 45 分～16 時 45 分の 7 時間以内、4 人ローテーション 就業	植木道具、襖・障子、作業 室業務の原材料等の搬入・ 搬出、納品、車両整備など
④ 入会時就業 (トライアル)	69 人就業	新入会員に対するセンター の体験就業として、有栖川 宮記念公園で希望者による 清掃業務を実施しました。

5) 就業機会開拓・創出員事業

区 分	実施回数等	備 考
就業機会創出 員による就業機 会の開拓	配置：2 人 月 16 日勤務	派遣業務の就業機会を増やすため、 事務系仕事の開拓を中心に行いま した。一方、パソコンを使用しない 軽作業やモニター業務の就業開拓 も実施しました。 また、新たな分野として調理補助業 務を開拓しました。

6) 適正就業対策事業

区 分	実施回数等	備 考
① 受託業務の 適正化	随時	適正就業ガイドラインの内容等を踏ま えて、就業マニュアルや、就業環境の見直し を行いました。
② 適正就業点 検の実施	年 1 回 11 月	就業現場を巡回しながら会員の就業状況 の実態を点検し、適正就業を推進しまし た。また、適正就業の内容についてホームペ ージを通じて会員及び発注者に周知を図りまし た。
③ 就業マニユ アルの整備	随時	グループリーダーに向け、就業マニユアル の重要性及び更新について呼びかけ、適宜 整備を進めました。

(2) 就業紹介と就業の推進

就業機会提供の着実な実施に向けて、均一な情報提供と公平性の高い公募性を継続しました。人手不足の業種には、仕事の対象を絞ったチラシの勧誘や未就業者に対する相談会を開催するなどして就業マッチングの改善を行いました。

1) 就業開拓提供事業

区 分	実施回数等	備 考
① 就業情報提供の推進	就業情報 実施回数:12回	事務局だよりで月に1度就業情報を掲載し、全会員に郵送し公平な就業機会提供を行いました。さらにホームページの会員専用サイトで就業情報掲載を行う他、事務局前のフロアで就業情報の貼り出しを行いました。
② 多人数就業者型業務現場への対応	チラシ 新聞折込 年7回 6、8、12、1、 2(2回)、3月	多くの就業会員を必要とする現場での就業者不足を解消するため、就業事例や写真を掲載したチラシを作成して新聞折込等を実施し、新規会員への就業機会の充実に取り組みました。また、就業相談会において当該業務を積極的に紹介しました。
③ 予備登録制度の活用	随時	就業者選考においては公平性を継続する一方、急な依頼や欠員に対して速やかに対応するため、予備登録制度を活用しました。
④ インターネット型就業情報提供システムの活用	随時	インターネット型情報提供システム Smile to Smile を活用し、モニター業務、公園清掃業務、児童登下校誘導業務等の募集を実施しました。

2) 相談事業

区 分	実施回数等	備 考
① 就業の相談機会の充実	年4回 4、7、10、2月	未就業会員に対して相談会を開催し、就業機会の提供に努めました。また、広報紙等全戸配布業務や登下校誘導業務といった多人数の就業会員を要する業務に絞った相談会を企画し、就業に結びました。

3 就業の質の向上

センターが就業を拡大するためには、仕事の質の向上が欠かせません。契約を忠実に履行することはもちろんですが、確かな技術や豊かな知識、親切丁寧な接遇こそがセンター就業の根幹となっています。新規に仕事に就く会員が早期に馴染めるよう、センターの就業に対する基本姿勢も含めて研修を実施しました。

また、ふれあい館カルチャー講座の調査を行い、満足度、利用状況、講師及びふれあい館への要望・意見等を把握し、今後のサービスの質の向上や事業内容の改善に役立てることを目的として、Webによるアンケートを実施しました。

(1) 調査事業

区 分	実施回数等	備 考
ふれあい館カルチャー講座受講生アンケート	年1回 3月	ふれあい館の利用状況、講座の評価、講座の推奨度、カルチャー講座への要望を設問としたアンケートを148人に配付し、51人回答がありました。(回収率34.5%)

(2) 基礎研修

区 分	実施回数等	備 考
初回就業後講習	4~3月(月1回) 参加者:延140人	新規就業会員に対し、事業趣旨や就業マナーを講習し、就業の質を高めました。

(3) 会員技能研修

区 分	実施回数等	備 考
① 港区相互支援サービス従事者研修(訪問型サービス研修)	年1回 2月 参加者:16人	訪問型サービス登録会員向けに研修を実施し、11人が修了しました。
② 家事援助サービス業務技能研修	年1回 12月 参加者:28人	洗剤・雑巾の扱い方を中心に水回り掃除についての技能研修を行いました。
③ 植木剪定・除草技能研修	年1回 3月 参加者:20人	就業で使用する草払機やバリカン等のメンテナンス技能及び安全就業に関わる研修を行いました。

④ 接遇・個人情報保護研修	年1回 11月 延12回 参加者:114人	公共施設や利用者と接することの多い現場を中心に接客対応・個人情報保護の研修を実施しました。 (対象業務:区政資料室管理運営業務、区庁舎等駐車場管理、いきいきプラザ受付管理、運動場管理、伝統文化交流館受付管理、区民センター受付管理、介護予防センター受付管理、健康増進センター受付管理等)
⑤ 児童登下校誘導業務基本研修	年1回 3月 参加者:86人	就業上の注意点やポイントについて確認するとともに、当該業務の履行に必要な知識、動作等を愛宕警察署スクールサポーターの協力を得て研修しました。
⑥ パソコン操作基礎研修	年1回 9月 参加者:12人	請負業務を希望する会員のパソコンスキルが、就業に必要なレベルに達しているか確認を行う研修を実施しました。
⑦ 日商パソコン検定研修(basic)	年1回 11月 参加者:6人	派遣業務を希望する会員等に、日本商工会議所主催の「データ活用Basic」受験の対策研修を実施しました。
⑧ 選挙事務パソコン操作研修	年1回 6月 参加者:37人	選挙事務業務の名簿対照業務に従事する会員向けにパソコン操作研修を実施しました。
⑨ 自動車運転講習会	年1回 5月 受講者:10人	運転に従事する会員全員が自動車教習所で高齢者講習を受け、適正確認を行いました。
⑩ ZOOM体験研修	年1回 8月 受講者:6人	オンラインミーティングの未経験者や就業や会議等で利用を検討している会員に対して「ZOOM」を使用した体験研修を実施しました。

⑪ LINE体験 研修	年1回 9月 受講者：6人	コミュニケーションツールを使用したことがない会員や利用を検討している会員に対して「LINE」体験研修を実施しました。
⑫ スマートフォン 体験研修	年1回 12月 受講者：11人	スマートフォンの操作に慣れていない会員や活用を検討している会員に対して基本的な操作・機能を学ぶ体験研修を実施しました。
⑬ エクセル体験 研修	年1回 2月 受講者：12人	エクセルの操作に慣れていない会員や不安がある会員等に対し、「エクセル」の基本的な操作・事例を学ぶ体験研修を実施しました。
⑭ 筆耕技能研修	年1回 3月 受講者：8人	専門団体講師による研修を実施し、賞状筆耕に係る指導、添削を受けて技能の向上を図りました。

(4) その他研修

区 分	実施回数等	備 考
① 東京しごと財団 各種研修	年4回 参加者：延4人	東京しごと財団主催の安全就業研修会や自転車安全利用講習会等に委員等を派遣しました。
② シルバー人材セ ンター職域拡大技 能講習・就業支援講 習	6種、8コース 参加者：22人	福祉・家事援助サービス：「基本研修」1人、「ハウスクリーニング」1人、「ステップアップ接遇」1人、「生活支援サービス研修」12人、毛筆筆耕：「賞状書き」1人、「宛名書き」1人「襖の張替え」1人、「リビングサービス」3人、「刈払機飛石事故防止講習」1人
③ AED・普通救 命講習	年1回 10月 延10回 参加者：57人	公共施設管理業務を中心にAED（自動体外式除細動器）の操作方法と救急救命の実技講習を実施しました。

4 安全就業の徹底

会員の安全就業を第一に考え、事故や危機を未然に防ぐために各種講習会を実施しました。

就業機会が増加したことや長引くコロナ禍生活による運動不足等により、年度を通じて転倒事故が多く見られました。会員の平均年齢の上昇も踏まえながら、今後も事故の未然防止対策に重点を置いた、継続した取り組みが必要となります。

(1) 安全就業対策事業

区 分	実施回数等	備 考
① 令和4年度安全就業方針等の確認	年1回 4月	安全就業対策の方針等を確認しました。
② 交通安全講習	年2回 7月 25人 12月 33人	麻布警察署の協力で、高齢者向けの自転車交通安全DVD講習と実技講習を行いました。
③ 安全就業講習事業	年2回 6、12月	グループリーダー会議時に事故報告を共有し、就業現場における安全項目の点検依頼及び現場に必要な安全確認のポイントを周知しました。
④ 安全就業強化月間事業	年1回 7月	会員の交通事故発生防止のため交通安全講習会を開催し、安全就業意識の向上のためのPR及び安全標語の募集を実施しました。
⑤ 安全就業パトロールの強化	年1回 9月	東京しごと財団の安全就業パトロール指導員による対象現場2ヶ所の巡回と、センターの安全就業対策事業の調査に対応しました。
⑥ 熱中症対策等	年1回 6~9月	熱中症予防対策として、情報提供や対策用品の配布を行いました。既存会員及び9月までの新入会員に配布しました。

⑦ 就業体力測定の実施	年1回 10月 参加者：22人	会員が自身の体力や健康に興味を持ち、安全に就業できるよう、専門機関に依頼して体力測定と健康講座を実施しました。
⑧ 転倒予防講習	年1回 11月 参加者：48人	日常生活や就業中・就業途上で多発している転倒事故を防止するため、介護予防総合センターの協力を受け、転倒予防講習を開催しました。
⑨ 区民のための健康教室	年1回 2月 参加者：69人 (内区民15人)	専門講師を招いて、会員及び一般区民高齢者のために、認知症予防をテーマに実施しました。
⑩ 安全就業推進巡回	合計8ヶ所 6月(2ヶ所) 9月(2ヶ所) 12月(2ヶ所) 3月(2ヶ所)	安全就業推進のため巡回を行いました。事故発生現場を中心に巡回を実施し、具体的な現場の環境把握に努めました。 重篤事故に繋がりやすい植木剪定・除草作業を重点的に巡回を行いました。
⑪ 事故分析調査	事故発生後 都度実施	会員の就業に伴う事故を未然に防止するため、事故の原因を分析し、再発防止策を研究しました。

(2) その他安全就業対策事業

区 分	実施回数等	備 考
① 第4ブロック共同事業	新型コロナウイルス感染防止のため中止	第4ブロック(近隣6センター)シルバー人材センター共同開催の「事故未然防止講習会」への参加を予定していました。
② 東京しごと財団等の「安全就業関係事業」への協力	随時	東京しごと財団の安全標語募集に協力し、当センター会員が最優秀賞等に出選されました。 また、東京しごと財団とメーカーが共同開発した自転車用ヘルメットの販売に協力しました。

(3) 傷害・賠償事故

令和4年度の事故概要は、VIの事故報告のとおりです。

5 会員活動の推進

会員同士の情報交換や円滑なコミュニケーションが取れるよう、工夫を凝らしたちいコミ（地域班会議）を推進しました。

また、職群班のトラブルや苦情等の事例を共有し、就業の質の向上を図るための情報交換の場として、職群班・仕事別グループ会議を開催しました。

さらに、公益法人として地域に貢献できる各種ボランティア活動を、新型コロナウイルスの感染対策を十分講じながら推進しました。

(1) 会員活動推進事業（地域班）

区 分	実施回数等	備 考
① ちいコミ（地域班会議）17地域班	14班実施 参加者：延 544人	全班実施予定でしたが、コロナの影響により3班が中止となりました。
② 地域班長会議	年2回（5・2月）	各班長からのちいコミ等の実施状況報告や地域における課題等の情報共有を行いました。
③ 地域班連絡会	新型コロナウイルス感染防止のため中止	地域班役員による、班運営の課題について意見交換等の機会を予定していました。

(2) 会員活動（職群班・仕事別グループ）

区 分	実施回数等	備 考
仕事別グループリーダー会議	年2回（6、12月）	仕事別グループのリーダーに対し、適正就業や安全就業の注意喚起を行いました。また、コロナ禍における就業の注意点やBCP（事業継続計画）等の周知を実施しました。

(3) その他会員活動（職群班・仕事別グループ）

就業を円滑に行うため、仕事別グループ毎に会議を実施しました。

一部のグループは、コロナ禍のため中止しました。開催状況の一覧は、右表のとおりです。

仕事別グループ	回数等
① みなとふれあい館カルチャー講座講師会議	年 1回
② 小物作成グループ「あじさい」(全体会)	年 2回
③ リサイクル自転車全体会	年 1回
④ 筆耕業務(全体会)	年 1回
⑤ 暫定自転車駐輪場整理業務(リーダー会)	年 12回
⑥ 菊池寛実記念 智美術館管理業務(全体会)	年 3回
⑦ スポーツ施設(埠頭少年野球場、芝給水所公園運動場)管理業務(全体会)	年 2回
⑧ 田町駅東口・品川駅港南口・白金高輪駅・白金台・浜松町駅北口・こうなん星の公園・三河台公園・六本木駅・桜田公園・広尾駅駐輪場管理業務(各全体会)	年各1回
⑨ 小・中学校施設開放管理業務(調整員会議・班会議)	年 25回
⑩ 公共施設清掃グループ(打合せ会)	年 12回
⑪ 区庁舎駐車場管理業務(全体会)	年 1回
⑫ みなとふれあい館受付業務(全体会)	年 1回
⑬ 新橋・芝公園・東麻布・麻布・六本木区民協働スペース管理業務(全体会)	年各1回
⑭ 伝統文化交流館管理業務(全体会)	年 1回
⑮ 公園清掃グループ(全体会)	年 1回
⑯ 植木剪定業務(全体会・打合せ会)	年 13回
⑰ 都民コンサート演奏準備作業等業務(全体会)	年 1回
⑱ 作業室軽作業グループ(全体会)	年 1回
⑲ 児童登下校誘導業務(調整員会議・全体会)	年 13回
⑳ ガイド事業業務(定例会)	年 11回

(4) 社会貢献活動事業

区 分	実施回数等	備 考
① 清掃ボランティアの推進・支援	シルバー人材センター感謝デー清掃ボランティア、年1回 参加者：187人	センター設立記念日に、日ごろの感謝を込め、17地域班で一斉に地域の道路等の清掃活動を行いました。

② 福祉支援活動の推進	使用済み切手の寄付 15.4 kg	事務局だより等で会員に呼びかけ、集めた使用済み切手を港区社会福祉協議会へ寄付しました。
	未使用タオル、木綿の布の寄贈 年1回	事務局だより等で会員に呼びかけ、タオル、木綿の布をコーラスボランティアで訪問している区内高齢者施設1か所に寄贈しました。
	地域交流カフェ 年6回 参加：延292人	センター会員や地域住民の交流の場として南麻布いきいきプラザと共催し、お休み処“いっぷく”を実施しました。参加者に楽しんでもらえるよう毎月の催し物を工夫しました。
③ ボランティア活動	コーラスボランティア 練習：年24回 参加者：延488人	コロナ感染防止のため高齢者施設への訪問は中止し、練習の開催及びみなど区民まつり、定時総会アトラクションに参加しました。
	街・道案内ボランティア 年1回 参加者：2人	コロナ感染防止対策を行いながら、地域貢献活動として街や道の案内を麻布十番駅・六本木駅前で行いました。
	ゆうあいカフェ 年12回 参加者 延921人	会員の交流の場、情報交換の場、切手を封筒から切り取るボランティアの場として、会員が就業報告書を提出する月初に“ゆうあいカフェ”を行いました。
	花壇ボランティア 有栖川宮記念公園 網代公園 狸穴公園 筈兒童遊園 水やり：年307回 参加者：延362人	花壇ボランティアとして、週1～3回、1～7人程度で水やり、花柄摘み等を行いました。 花の植替えを年1～2回行いました。

④ 他団体とのボランティア活動	港区アドプトプログラム ・高輪班 水やり：45回 参加者：延47人 ・白金台班 水やり：22回 参加者：延31人	高輪班は高松くすのき公園、白金台班は白金台4丁目児童遊園の花壇の水やり、花柄摘み、花の植替え作業を行いました。両班と区がアドプトプログラム協定を締結し、活動しています。港区から長年の活動が評価され、2年連続「景観街づくり賞特別賞」を受賞しました。
	六本木安心安全プロジェクト、清掃活動 年10回 参加者：延14人	麻布地区総合支所管内のボランティア活動に協力しました。
	東京マラソン祭り2022 参加者：6人	東京しごと財団と連携し、区立芝公園会場でランナーの応援イベントに参加しました。観客案内等のサポート活動を行いました。
	MINATO シティハーフマラソン2022 参加者：8人	センター会長が実行委員を務める等港区と連携し、会場までの道案内や声掛け等のボランティア活動を行いました。

(5) その他事業推進組織活動

区分	実施回数等	備考
① センター活動率の設定と会員活動の推進	検討・実施	就業及び就業以外の会員活動やボランティア活動に参加している会員を含めた割合を「活動率」とし、新たな指標として設定しました。センター活動率の基礎となる活動の参加者を集計した結果、令和4年度は89.4%となりました。
② 定期的な会員安否確認の実施	年12回 利用者：なし 協力者：延5人	社会貢献活動委員会が主体となり実施しましたが、要望がなかったため、ゆうあいカフェ利用者に対して話し相手のボランティアとして活動しました。

6 推進体制の強化

公益社団法人としてコンプライアンスを推進し、法人設立の目的実現に資する効果的な業務執行に向けて的確な経営判断が行われるように努めました。また、適切な会計処理及び事業を推進する事務局体制の強化を図るとともに、災害等に対応できる危機管理体制づくりに取り組みました。

(1) 組織運営の強化

1) 新たな中期計画の策定

4年度は第3次基本計画（2020～2022）の最終年度に当たるため、新たなセンターの将来像を4ヶ年で描く第4次基本計画を策定しました。策定にあたっては、会員意識調査、会員現況調査を行い、結果を計画に反映しました。

区 分	実施回数等	備 考
第4次基本計画の策定 （2023～2026年度）	随時	各種調査を基に4ヶ年の基本計画を策定しました。
会員意識調査	5月	全会員を対象に就業や生活における意識調査を行い、基本計画の基礎資料として活用しました。
会員現況調査	5月	全会員に緊急連絡先など登録情報の確認及び更新を行いました。

2) 総会・理事会・監査

区 分	実施回数等	備 考
① 定時総会	年1回 6月	監査報告、事業報告の後、決算、役員を選任、定款変更を決議しました。
② 理事会	年11回	定期的に理事会を開催し、会務運営や業務執行等について審議しました。
③ 内部監査	年4回 4、9、11、3月	監事による前年度決算監査、中間監査、年度末現金監査等を受けました。
④ 公認会計士による監査	年2回 4、11月	公認会計士に監査を依頼し、令和3年度決算と令和4年度中間監査を実施しました。

⑤ 外部監査	年 2 回 8、11 月	東京都、税務署から事業活動状況及び源泉所得税の監査を受けました。
--------	-----------------	----------------------------------

3) 執行会議

区 分	実施回数等	備 考
執行会議	年 12 回	代表理事及び業務執行理事により、事業の重要事項の方針・執行に関して協議を行い、理事会の運営に当たりました。

4) 役員・職員研修

東京都シルバー人材センター連合(東京しごと財団)主催等の研修に参加し、最新の情報収集を行い経営に役立てました。

区 分	実施回数等	備 考
① 上部団体による役員研修	年 4 回 参加者：延 4 人	全国シルバー人材センター事業協会及び東京しごと財団が主催する役員研修に参加しました。
② 役員研修	年 1 回、12 月 参加者：全役員	専門家による個人情報保護法の改正に伴う研修を実施し、適正な理解に務めました。
③ 上部団体による職員研修	年 8 回 参加者：延 10 人	全国シルバー人材センター事業協会及び東京しごと財団が主催する職員研修に参加しました。
④ 職員研修	年 1 回、1 月 参加者：全職員	発注者や会員に対する接遇向上のため、研修を実施しました。

5) 会員表彰

区 分	実施回数等	備 考
会員表彰	年 1 回 98 人	会員表彰 92 人 地域班長・副班長表彰 6 人

6) 事務局BCP

区 分	実施回数等	備 考
事務局のBCP (事業継続計画)	通年	災害によるBCPの発動に備え、全会員へハンドブックを送付し、安否確認方法等を周知しました。

(2) 事務局体制の強化

1) 組織の強化・合理化

- ・各事業に対し適切な人員配置を行い、会員の活用も推進しつつ事務執行にあたりました。
- ・職員の階層別役割の明確化をはかり、職層に対応した各種研修に参加し、職員の資質向上に努めました。
- ・会員目線を心掛け、マナー向上を図りながら会員に信頼される事務局運営に努めました。
- ・事業運営の「透明性」「民主性」「公平性」に立脚し、会員目線に立った事務局運営に努めました。

2) 事務事業の合理化

- ・事業の定期的な見直しや業務効率化を通じて、会員サービスや発注者へのサービスが向上するよう努めました。
- ・事務の簡素効率化やシステム活用により、合理化に努めました。

(3) 財源の確保と安定経営

1) 財源の確保

- ・事業の売掛金については早期回収に努めました。
- ・地方自治法施行令の一部が改正され、随意契約の方法でシルバー人材センターに仕事を発注することが可能な状況を踏まえて、政策目的随意契約の活用を東京都シルバー人材センター連合とともに港区に働きかけました。

2) 安定経営の推進

- ・経営基盤強化のため経費節減に努め、事業の優先度に応じて資金を充当しました。

3) 財政計画

- ・公益法人会計基準に基づき、適切な会計処理及び収支相償に取り組みました。
- ・リサイクル自転車事業及びリビングサービスの作業所移転に伴う費用について、「自転車リサイクル事業等作業所移転費用準備資金」を活用しました。
- ・令和5年10月に開始される消費税のインボイス制度について、全国シルバー人材センター事業協会や東京しごと財団等と連携を図りながら情報収集を行いました。また、消費税支払いの増加に対応するため、財源確保の準備に取り組みました。
- ・財政基盤健全化のため、港区からの貸付金の必要性について検討を行いました。

V 組織（諸会議の活動状況）

1 総会・理事会・地域班連絡会

会議の名称	開催年月日	主な議事
第 1 回 理 事 会	4 月 27 日	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（4 月分）について・ 令和 4 年度定時総会の開催方法及び提出案件について・ 令和 4 年度表彰者について・ 令和 3 年度事業報告について・ 令和 3 年度決算について
班 長 会	5 月 13 日	<ul style="list-style-type: none">・ 各委員会からのお知らせ・ 定時総会運営の協力について
第 2 回 理 事 会	5 月 25 日	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（5 月分）について・ プラチナ会員の申請について・ 令和 4 年度会計関係書類の廃棄について
定時総会	6 月 22 日	<ul style="list-style-type: none">・ 第 1 号報告 令和 3 年度監査報告の件・ 第 2 号報告 令和 3 年度事業報告の件・ 第 1 号議案 令和 3 年度決算の件・ 第 2 号議案 定款の一部変更の件・ 第 3 号議案 理事 1 人及び監事 1 人選任の件
第 3 回 理 事 会	6 月 28 日	<ul style="list-style-type: none">・ 常務理事及び業務執行理事の選定について・ 理事会運営規程第 8 条第 1 項に基づく理事会の議長の順序について・ 入会者（6 月分）について・ 就業期限延長者について
第 4 回 理 事 会	7 月 27 日	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（7 月分）について・ 規程の改正（事務費規程、特定費用準備資金取扱規程）について
第 5 回 理 事 会	9 月 28 日	<ul style="list-style-type: none">・ 入会者（8. 9 月分）について・ 規程の改正（育児・介護休業等）について
第 6 回 理 事 会	10 月 26 日	<ul style="list-style-type: none">・ 代表理事及び業務執行理事による職務執行状況報告について・ 入会者（10 月分）について

港区と役員 の懇談会	10月26日	<ul style="list-style-type: none"> センターを所管する港区保健福祉支援部とセンターの役員で現状の課題について懇談を行いました。
第7回 理事会	11月24日	<ul style="list-style-type: none"> 入会者（11月分）について 基準の改正（期末手当に関する基準等） 令和5年度予算編成方針について 入会者に対する会費の特例措置について
第8回 理事会	12月21日	<ul style="list-style-type: none"> 入会者（12月分）について 第4次基本計画について 派遣事業における継続就業上限5年の例外に関する取扱いについて
第9回 理事会	1月25日	<ul style="list-style-type: none"> 入会者（1月分）について プラチナ会員について 令和5年度契約更新について 令和5年度就業確認について 第23期役員候補者の選定について
班長会	2月17日	<ul style="list-style-type: none"> 新地域班長の紹介について ちいコミ実施報告
第10回 理事会	2月24日	<ul style="list-style-type: none"> 入会者（2月分）について 令和5年度区外在住会員について 令和4年度第1号補正予算について 令和5年度事業計画について 令和5年度予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて 役員賠償責任保険の契約について
第11回 理事会	3月23日	<ul style="list-style-type: none"> 代表理事及び業務執行理事による職務執行状況報告について 入会者（3月分）について 会費未納等による会員への対応について 令和5年度配分金単価基準について 競業及び利益相反取引について

2 専門委員会及び理事担任制

(1) 企画組織委員会

活動課題 活動【11回】	① 事業運営推進機関の所掌事務について ② 地域班連絡会、班長会のあり方について ③ 地域班会議の運営について ④ 基本計画の推進について
-----------------	---

(2) 広報委員会

活動課題 活動【11回】	① ホームページ等による情報発信について ② 入会経路の分析について ③ 広報強調月間事業の実施について ④ 会員増強月間について ⑤ SNSを活用した情報発信の検討について
-----------------	---

(3) 研修委員会

活動課題 活動【11回】	① 参加しやすい入会説明会の開催について ② 初回就業後講習について ③ 未就業会員を対象としたフォローアップ研修について
-----------------	---

(4) 社会貢献活動委員会

活動課題 活動【11回】	① ボランティア活動の推進について ② 既存ボランティアの活動の拡充について ③ 新たなボランティア活動の取組みについて
-----------------	--

(5) 就業対策委員会

活動課題 活動【11回】	① 適正就業対策のあり方検討について ② 就業マニュアルの整備・充実について ③ 未就業会員対策について ④ 就業の基準等に関する要綱の整備について ⑤ 就業体力測定の実施について ⑥ 適正就業現場視察の実施について ⑦ 区外在住会員・就業期限延長者の対応について
-----------------	--

(6) 事業対策委員会

活動課題 活動【12回】	① 新規開拓事業分野の検討について ② 基本計画の推進・検討について ③ 顧客満足度調査の検討について ④ ふれあい館事業の運営検討について
-----------------	--

(7) 地区担当理事

活動課題 活動【5回】	① 港区の各地区総合支所との連携について ② 地域班活動への情報提供について
----------------	---

(8) 安全管理委員会

活動課題 活動【12回】	① 安全対策の推進について ② 安全啓発事業の実施について ③ 健康管理対策の実施について
-----------------	---

(9) 配分金検討委員会

活動課題 活動【1回】	① 令和5年度の配分金基準について ② 令和5年度の配分金支払い日について
----------------	--

(10) 衛生委員会

活動課題 活動【12回】	① 派遣会員の健康の保持増進について ② 派遣会員の職場環境や安全就業の確認について
-----------------	---

VI 事故報告

令和4年度事故概要報告

令和4年度は、傷害事故19件、賠償事故0件、合計19件となっており令和3年度に比べ傷害事故は7件増加、賠償事故は3件減少しました。昨年度は傷害事故が12件、賠償事故が3件でした。

No.	区分	性別	年齢	職群	発生状況	傷害・損害の状況
1	傷害	女	77	門扉開閉	就業終了後、帰宅のため公園内を出口へ歩いていた際につまずき転倒した。	上腕骨 顆上骨折
2	傷害	女	87	公園清掃	就業現場に到着し自転車を駐輪場へ停めようとした際、滑って転倒した。	腰椎圧迫 骨折
3	傷害	女	75	花壇ボランティア	花壇ボランティア中に、ぬかるんだ芝生に足をとられて転倒した。	右手首骨折
4	傷害	女	72	全戸配布	配布作業を終えて帰宅途中に路上でつまずき転倒した。	右膝亀裂骨 折、右手首 打撲
5	傷害	男	70	全戸配布	配布作業中、足元が不注意となり路上でつまずき右足首を捻った。	右足首 骨折
6	傷害	男	82	公園清掃	就業終了後、帰宅途中、歩道でつまずき転倒し顔面右側を打った。	顔面 内出血
7	傷害	女	70	公園清掃	就業中、公園内の柵を跨ごうとした際、足をひっかけ転倒した。	顔面・足の 打撲
8	傷害	男	74	学校開放	就業途上、歩道を歩いていた際、前から来た通行人が押していた自転車と接触し転倒した。	腰・臀部の 打撲

No.	区分	性別	年齢	職 群	発 生 状 況	傷害・損害 の状況
9	傷害	女	74	受付 管理	就業中、傘を片付けようとした際、石づきのカバーがなく、左親指を刺した。	左親指 切創
10	傷害	男	72	害虫 駆除剤 投与	児童遊園の集中柵に薬剤を投与する際、公園内のネットを固定しているロープに左足が絡まり転倒した。	両膝・両手 首の打撲・ 擦過傷
11	傷害	男	78	家事 援助	就業帰宅途中、歩道側に入ってきた電動キックボードをよけようとして転倒した。	右足膝、左 手の打撲・ 内出血
12	傷害	男	78	家事 援助	センターに就業報告書を提出する途中、歩道のレンガにつまづき転倒し、左目上を切り、顎と左手を打ちつけた。	左目上切 創、打撲
13	傷害	女	83	公園 清掃	就業中つまづき転倒し、右足を痛めた。	亀裂骨折
14	傷害	女	64	学校 開放	学校施設開放管理就業中、学校の玄関でつまづき転倒した。	大腿骨 骨折
15	傷害	男	64	家事 援助	発注者が善意によりコロナ消毒用のスプレーを会員にかけた際、誤って目に入った。	左目炎症
16	傷害	女	72	事務	就業終了後、帰宅途中路上でつまづき転倒し、額を打った。	額の腫れ、 裂傷等
17	傷害	男	69	駐 車 場	車を駐車スペースに後ろ向きで案内中に車止めに左足がひっかけり転倒した。	左手のひ ら・手首打 撲、中指擦 過傷
18	傷害	男	75	登下校 誘導	就業途上、歩道の段差に躓き転倒し、左側の顔から肩のあたりを打ち付けた。	左目上・肩、 擦過傷・打 撲
19	傷害	女	81	駐 輪 場	就業帰宅途中、自宅前の段差につまづき転倒し、両膝、手のひらを地面に打ち付けた。	両膝・手の 平、擦過傷

VII 附属明細書

令和4年度事業報告に、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありませんでした。

令和4年度地域班別会員現況表

令和5年3月31日現在

階層 地域班	60～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80歳以上		合計		平均年齢		最高年齢			
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性		
新橋・愛宕	2	4	0	2	5	5	1	4	5	6	8	14	15	29	76.5	73.5	89	87
大門・芝公園	0	3	3	5	2	2	6	4	10	2	8	13	20	33	75.4	75.0	83	88
芝	2	2	4	5	15	15	22	10	32	22	14	66	50	116	77.1	75.2	90	90
芝浦海岸通	2	4	8	12	26	27	24	20	44	24	20	84	83	167	76.6	74.9	89	88
港南	1	6	8	15	24	18	24	18	42	25	17	82	74	156	77.0	74.1	89	90
台場	0	0	0	4	4	2	5	5	10	1	3	10	14	24	76.2	75.8	83	90
高輪	5	9	14	12	22	36	22	35	57	21	27	82	122	204	75.6	74.8	93	94
白金台	2	2	4	2	14	14	13	11	24	14	10	52	51	103	76.3	74.3	93	90
白金	1	5	6	7	25	30	13	19	32	30	13	76	82	158	77.4	73.7	100	92
三田	3	3	6	10	22	31	27	29	56	11	17	73	94	167	74.8	74.9	87	90
六本木	1	3	4	4	7	12	6	9	15	8	9	26	40	66	76.3	74.4	90	87
南麻布	0	4	4	9	19	17	17	16	33	17	10	62	58	120	76.4	74.1	91	89
麻布中央	3	4	7	11	17	14	14	21	35	6	15	51	60	111	73.3	75.7	89	88
西麻布	2	3	5	3	13	13	14	6	20	8	8	40	36	76	75.3	74.4	87	92
南青山	1	1	2	10	10	14	15	11	26	11	11	47	45	92	75.3	75.2	89	87
北青山	0	2	2	6	9	16	4	14	18	15	10	30	48	78	79.0	74.9	92	89
赤坂	0	6	6	9	5	10	14	7	21	7	3	35	36	71	75.1	71.6	90	86
その他	1	0	1	0	0	0	2	1	3	1	0	5	1	6	75.0	77.2	85	77
合計	26	59	85	104	263	276	522	243	483	229	195	848	929	1,777	76.1	74.5	100	94

令和4年度事業実績前年度対比表(請負契約)

(公社) 港区シルバー人材センター

会員数 (人)	就業実人員 (人)	就業率 (%)	事業別 区分	事業別 詳細	契約件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額 (円)				契約金額 公民比 (%)
							配分	金材	約料	事務費	
全体 1,777 (104.4)	全体 1,444 (115.1)	全体 81.3% (7.6 P)	公共		1,257 (100.2)	52,167 (99.4)	221,930,745 (99.2)	15,857,763 (93.0)	30,821,594 (104.4)	268,610,102 (99.4)	40.0% (-1.8 P)
1,702	1,255	73.7%			139 (120.9)	1,996 (95.3)	10,814,985 (97.7)	130,530 (51.1)	1,612,145 (120.3)	12,557,660 (99.1)	41.8%
			民間	公社	115	2,095	11,074,187	255,526	1,339,742	12,669,455	3.4%
				企業	2,634 (100.6)	69,298 (103.7)	285,251,953 (106.4)	8,956,710 (93.8)	40,763,838 (118.1)	334,972,501 (107.3)	83.2%
				計 (企業等)	2,619	66,802	268,201,962	9,553,453	34,513,359	312,268,774	82.8%
					2,773 (101.4)	71,294 (103.5)	296,066,938 (106.0)	9,087,240 (92.6)	42,375,983 (118.2)	347,530,161 (107.0)	86.3%
					2,734	68,897	279,276,149	9,808,979	35,853,101	324,938,229	86.2%
男性 848 (103.5)	689 (113.5)	81.3% (7.2 P)		家庭	2,355 (102.7)	8,385 (101.7)	31,065,927 (105.5)	2,587,941 (94.8)	3,174,563 (106.6)	36,828,431 (104.7)	9.1%
819	607	74.1%			2,292	8,245	29,455,206	2,728,572	2,979,188	35,162,966	9.3%
				独自	185 (97.9)	3,748 (119.6)	15,803,805 (108.4)	458,575 (104.6)	2,221,609 (110.6)	18,483,989 (108.5)	4.6%
			民間		189	3,134	14,585,321	438,495	2,008,545	17,032,361	4.5%
女性 929 (105.2)	755 (116.5)	81.3% (7.9 P)		小計	5,313 (101.9)	83,427 (103.9)	342,936,670 (106.1)	12,133,756 (93.5)	47,772,155 (117.0)	402,842,581 (106.8)	100.0% (1.8 P)
883	648	73.4%			5,215	80,276	323,316,676	12,976,046	40,840,834	377,133,556	100.0%
				合計	6,570 (101.5)	135,594 (102.1)	564,867,415 (103.2)	27,991,519 (93.2)	78,593,749 (111.7)	671,452,683 (103.7)	100.0%
					6,470	132,775	547,089,271	30,021,430	70,373,246	647,483,947	100.0%

※ 上段(ゴシック)は令和4年度、下段は令和3年度の数値。カッコ内は、前年度を100とした場合の指数を表わします。

令和4年度職群別公共民間別事業実績（請負契約）

公益社団法人 港区シルバー人材センター

1. 職群別事業実績

職群別区分	実績		契約延人員		契				約				金		額	
	件	比率	人日	比率	配	分	金	比率	材	料	費	事	務	費	計	比率
1.技術群	321	4.9%	2,846	2.1%	14,846,339			2.6%	145,554			2,748,210			17,740,103	2.6%
2.技能群	986	15.0%	5,351	3.9%	23,178,061			4.1%	4,414,424			2,446,377			30,038,862	4.5%
3.事務整理群	387	5.9%	4,569	3.4%	22,242,159			3.9%	154,254			2,517,590			24,914,003	3.7%
4.管理群	1,357	20.7%	55,085	40.6%	271,323,555			48.0%	9,151,028			41,305,138			321,779,721	47.9%
5.折衝外交群	2	0.0%	39	0.0%	224,344			0.0%	0			20,660			245,004	0.0%
6.一般作業群	1,707	26.0%	38,163	28.1%	144,183,010			25.5%	9,578,842			21,819,505			175,581,357	26.1%
7.サービズ群	1,793	27.3%	29,501	21.8%	88,540,847			15.7%	4,547,417			7,703,419			100,791,683	15.0%
8.その他	17	0.3%	40	0.0%	329,100			0.1%	0			32,850			361,950	0.1%
合計	6,570	100.0%	135,594	100.0%	564,867,415			100.0%	27,991,519			78,593,749			671,452,683	100.0%

2. 公共民間別事業実績

事業区分	実績		契約延人員		契				約				金		額	
	件	比率	人日	比率	配	分	金	比率	材	料	費	事	務	費	計	比率
公共事業	301	13.3%	52,167	38.5%	221,930,745			39.3%	15,857,763			30,821,594			268,610,102	40.0%
民間一般企業	633	28.0%	71,294	52.6%	296,066,938			52.4%	9,087,240			42,375,983			347,530,161	51.8%
個人家庭	1,278	56.5%	8,385	6.2%	31,065,927			5.5%	2,587,941			3,174,563			36,828,431	5.5%
事独自事業	48	2.1%	3,748	2.8%	15,803,805			2.8%	458,575			2,221,609			18,483,989	2.8%
業計	1,959	86.7%	83,427	61.5%	342,936,670			60.7%	12,133,756			47,772,155			402,842,581	60.0%
合計	2,260	100.0%	135,594	100.0%	564,867,415			100.0%	27,991,519			78,593,749			671,452,683	100.0%

2の受注件数は、月を跨る契約であっても1件として算定した全国シルバー事業協会協方式の数値である。（契約件数とは異なる）

令和4年度事業実績前年度対比表(シルバー派遣事業)

(公社) 港区シルバー人材センター

登録 会員数(人)	就業実人員 (人)	事業別		契約件数 (件)	就業延人員 (人日)	契約金額(円)		契約金額 公民比(%)	
		区分	詳細			会員賃金	手数料等		合計
全体 521 (110.6)	全体 371 (103.1)	公共		1 (50.0)	1,196 (53.0)	5,172,600 (50.1)	1,484,536 (50.1)	6,657,136 (50.1)	5.0% (-5.5 P)
471	360		企業	178 (124.5)	17,078 (110.6)	98,448,557 (111.9)	28,790,266 (115.0)	127,238,823 (112.6)	95.0% (5.5 P)
男性 221 (105.7)		民間	個人	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0.0%
209			計 (企業等)	178 (124.5)	17,078 (110.6)	98,448,557 (111.9)	28,790,266 (115.0)	127,238,823 (112.6)	95.0%
女性 300 (114.5)				143	15,441	87,961,086	25,045,501	113,006,587	89.5%
262		合計		179 (123.4)	18,274 (103.3)	103,621,157 (105.4)	30,274,802 (108.1)	133,895,959 (106.0)	100.00%
				145	17,698	98,293,686	28,010,956	126,304,642	100.00%

※ 上段(ゴシック)は令和4年度、下段は令和3年度の数値。 カッコ内は、前年度を100とした場合の指数を表わします。

年度別事業実績調 (請負)

(公社) 港区シルバー人材センター

年度	会 員 数				就業延日人員				契 約 件 数				契 約 金 額			
	男 %	女 %	人 合計 %	人 指数 % 伸び率	人 人数	人 日 %	人 指数 % 伸び率	件 公共 %	件 民間 %	件 合計 %	件 指数 % 伸び率	円 公共 %	円 民間 %	円 合計 %	円 指数 % 伸び率	
昭和 54 年度	332	190	512	100%	24,717	100%	100%	103	1,460	1,563	100%	13,251,725	67,233,099	80,484,824	100%	
平成 10 年度	466	520	986	192.6%	76,878	311.0%	292.1%	1,118	3,447	4,565	292.1%	151,331,369	255,780,944	407,112,313	505.8%	
平成 15 年度	723	739	1,462	285.5%	102,222	413.6%	411.8%	1,589	4,847	6,436	411.8%	236,092,273	285,331,727	521,424,000	647.9%	
平成 20 年度	669	684	1,353	264.3%	129,536	524.1%	397.1%	1,850	4,356	6,206	397.1%	363,599,143	303,967,347	667,566,490	829.4%	
平成 25 年度	755	772	1,527	298.2%	144,768	585.7%	439.4%	1,954	4,914	6,868	439.4%	298,582,072	353,007,512	651,589,584	809.6%	
平成 30 年度	812	853	1,665	325.2%	150,359	608.3%	463.7%	1,405	5,843	7,248	463.7%	264,948,594	488,960,812	753,909,406	936.7%	
令和 元 年度	809	867	1,676	327.3%	131,686	532.8%	441.3%	1,408	5,489	6,897	441.3%	260,161,667	378,270,087	638,431,754	793.2%	
令和 2 年度	808	878	1,686	329.3%	121,131	490.1%	378.8%	1,289	4,632	5,921	378.8%	246,005,066	340,157,910	586,162,976	728.3%	
令和 3 年度	819	883	1,702	332.4%	132,775	537.2%	413.9%	1,255	5,215	6,470	413.9%	270,350,391	377,133,556	647,483,947	804.5%	
令和 4 年度	848	929	1,777	347.1%	135,594	548.6%	420.3%	1,257	5,313	6,570	420.3%	268,610,102	402,842,581	671,452,683	834.3%	
	47.7%	52.3%	100%	4.4%		2.1%	1.5%	19.1%	80.9%	100%	1.5%	40.0%	60.0%	100%	3.7%	

※指数は、昭和54年度に対するもの。伸び率は、前年度に対するもの。

年度別事業実績調 (派遣)

(公社) 港区シルバー人材センター

年度	登録会員数				就業延人員(人日)				契約件数				契約金額								
	男 %	女 %	人 合計	指数 伸比率	人数	人日	指数 伸比率	公共 %	民間 %	件 合計	件 伸比率	公共 %	民間 %	円 合計	円 伸比率	公共 %	民間 %	円 合計	指数 伸比率		
平成28年度	57 39.0%	89 61.0%	146 100%	100%	2,322	2,322	100%	30.0%	70.0%	7 100%	3 30.0%	4 40.0%	3 30.0%	13,873,680	100%	10,355,687	74.6%	3,517,993	25.4%	19,350,062	100%
平成29年度	81 37.0%	138 63.0%	219 100%	150.0%	4,462	4,462	192.2%	5.1%	94.9%	37 100%	2 5.1%	35 94.9%	2 5.1%	10,355,687	74.6%	10,355,687	100.0%	0	0.0%	28,457,118	147.1%
平成30年度	173 50.0%	173 50.0%	346 100%	237.0%	5,488	5,488	236.3%	0.0%	100.0%	103 100%	0 0.0%	103 100%	0 0.0%	9,019,070	65.3%	9,019,070	100.0%	0	0.0%	38,220,628	197.5%
令和元年度	196 48.4%	209 51.6%	405 100%	277.4%	18,745	18,745	807.3%	1.2%	98.8%	164 100%	2 1.2%	162 98.8%	2 1.2%	128,887,130	1660.0%	128,887,130	100.0%	0	0.0%	137,906,200	712.7%
令和2年度	205 46.8%	233 53.2%	438 100%	300.0%	15,961	15,961	687.4%	0.8%	99.2%	132 100%	1 0.8%	131 99.2%	1 0.8%	8,233,968	1330.0%	8,233,968	100.0%	0	0.0%	115,632,474	597.6%
令和3年度	209 44.4%	262 55.6%	471 100%	322.6%	17,698	17,698	762.2%	1.4%	98.6%	143 100%	2 1.4%	141 98.6%	2 1.4%	13,298,055	1450.0%	13,298,055	100.0%	0	0.0%	126,304,642	652.7%
令和4年度	221 42.4%	300 57.6%	521 100%	356.8%	18,274	18,274	787.0%	0.6%	99.4%	178 100%	1 0.6%	177 99.4%	1 0.6%	6,657,136	1790.0%	6,657,136	100.0%	0	0.0%	133,895,959	692.0%

※指数は、平成28年度に対するもの。伸比率は、前年度に対するもの。

年度別事業実績調 (請負+派遣)

(公社)港区シルバー人材センター

年度	就業延人員(人日)		契約件数				契約金額				指数 伸び率
	人数	指数 伸び率	公共 %	民間 %	件 合計	指数 伸び率	公共 円	民間 円	合計 円		
平成28年度	151,106	100%	1,893	5,192	7,085	100%	330,401,221	403,944,644	734,345,865	100%	
			26.7%	73.3%	100%	45.0%	55.0%	100%			
平成29年度	152,270	100.8%	1,388	5,844	7,232	102.1%	249,397,291	496,112,153	745,509,444	101.5%	
			19.2%	80.8%	100%	33.5%	66.5%	100%			
平成30年度	155,847	103.1%	1,405	5,946	7,351	103.8%	264,948,594	527,181,440	792,130,034	107.9%	
			19.1%	80.9%	100%	33.4%	66.6%	100%			
令和元年度	150,431	99.6%	1,410	5,653	7,063	99.7%	269,180,737	507,157,217	776,337,954	105.7%	
			20.0%	80.0%	100%	34.7%	65.3%	100%			
令和2年度	137,092	90.7%	1,290	4,764	6,054	85.4%	254,239,034	447,556,416	701,795,450	95.6%	
			21.3%	78.7%	100%	36.2%	63.8%	100%			
令和3年度	150,473	99.6%	1,257	5,358	6,615	93.4%	283,648,446	490,140,143	773,788,589	105.4%	
			19.0%	81.0%	100%	36.7%	63.3%	100%			
令和4年度	153,868	101.8%	1,258	5,491	6,749	95.3%	275,267,238	530,081,404	805,348,642	109.7%	
			18.6%	81.4%	100%	34.2%	65.8%	100%			

※指数は、平成28年度に対するもの。伸び率は、前年度に対するもの。